

## 2025年度 北海道大学大学院 文学院修士課程入学試験（後期）

|       |                                                                                                                                                          |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 試験区分  | <input checked="" type="checkbox"/> 一般入試<br><input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試<br><input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）                     |
| 試験科目名 | 専門試験（ 東洋史学 ）                                                                                                                                             |
| 出題の意図 | <p>主に二つの意図から出題が構成されている。</p> <p>一つは、東洋史学全般におけるこれまでの研究の流れを把握し、自らの研究をその上に位置づけることができるかを問うものである。</p> <p>もう一つは、東洋史学の様々な問題に対して、広範かつ具体的な知識を身に着けているかを問うものである。</p> |

2025年度  
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）  
（専門試験） 東洋史学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 5枚を配付する。

問1 次の問いに答えなさい（解答用紙1枚を用い、問1と明記すること）。

東洋史学は、日本から見れば外国研究の一部であり、研究対象は海外である。現地を中心とする海外で行われる研究と、日本国内で行われる研究との異同がわかるように注意しながら、あなたの研究課題に関係する主要な先行研究と現在における到達点を説明しなさい。

その際に、具体的な研究者名や論文著作名を挙げ、研究視角、研究手法、研究成果などについて両者の異同を明示し、その要因として考えられることについても言及すること。

問2 次の語句から4つを選び、それぞれ400字程度で説明しなさい（語句1つにつき解答用紙1枚を用い、まず問2と記し、さらに選択した番号を明記すること）。

- |                |                  |          |           |
|----------------|------------------|----------|-----------|
| (1) 酎金         | (2) 越史略          | (3) 題本   | (4) 紹英    |
| (5) 府院の争       | (6) ドゥルーズ派       | (7) ハベシュ | (8) ミフラーブ |
| (9) ドニゼッティ・パシャ | (10) アフマド・シャーヒー朝 |          |           |